

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学		選択	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
瀧口 綾	B305	atakiguchi		水曜日 11:40～12:40	
授業の目的・概要	<p><目的>福祉分野において心理支援の土台となる基礎的な理論、実践的な事例及び支援策について学ぶことを目的とする。本講義は公認心理師資格に必要な科目として対応しているが、将来の職業選択に関係なく生きづらさを抱えている人々の安心、安定した生活を支えるための知識及び対人援助の技法を理解することを目的とする。</p> <p><概要>福祉分野は幅広く、支援対象者もさまざまである。高齢・障害・児童・地域等の福祉領域における対象の理解を心理学的視点から解説する。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	講義中に生じた疑問はそのままにせず積極的に質問し学びを深めて欲しい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	公認心理師スタンダードテキストシリーズ 17 福祉心理学/監修:下山晴彦、佐藤隆夫、本郷一夫/編著:渡部純夫、本郷一夫/ミネルヴァ書房 公認心理師の基礎と実践 第17巻 福祉心理学/編:中島健一/遠見書房				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	現代社会が抱える課題と福祉の対象者の心理的側面との関連について説明できる。			HSU(1)、HC(1)、(2)	
②	福祉心理学の歴史と理念について説明できる。			HSU(1)、HC(1)、(2)	
③	福祉領域の各種の制度を心理学視点から説明できる。			HC(1)、(2)	
④	心理学的支援の中で制度や社会サービスを活用するための知識を身に着ける。			HC(1)、(2)	
⑤	福祉領域における心理的支援のあり方について説明できる。			HC(1)、(2)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション、福祉心理学の概要について学ぶ。	講義	シラバスを精読し授業内容の復習を行う。	4	
2	現代社会における福祉をめぐる現状と課題について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
3	子どもと親への支援について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
4	児童虐待の理解と支援について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
5	社会的養護の課題と支援について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
6	貧困家庭への支援について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
7	暴力被害者への支援について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
8	障害と疾病の理解と支援について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
9	高齢者の心身機能の特徴について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
10	認知症の理解と支援について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
11	介護と高齢者虐待について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
12	ひきこもり・自殺の背景の理解と支援について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
13	災害と福祉について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
14	多職種連携による支援について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

15	総括を行う。	講義	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4					
試	定期試験を実施する。 達成度評価・評価のポイントを参照する。								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		70	0	0	0	30	100		
総合力指標	知識・技術力	10	0	0	0	5	15		
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5		
	発表・表現伝達する力	10	0	0	0	0	10		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	10	0	0	0	10	20		
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	0	20		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①	✓	定期試験を実施して評価する。試験は、授業で学んだ知識の理解及び授業内容に関する自分の意見を述べた上で、考察を行う問題を出題し、評価する。				後日試験の総評を掲示し、必要に応じて個別に解説を行う。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
レポート	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
成果発表	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
その他	①	✓	毎回授業の終わりにリアクションペーパーを提出する。内容は授業の要点の整理、気づき、自分の考え、疑問点等とする。				次回の講義の初めに、前回のリアクションペーパーについてコメントし解説する。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
備 考									
他 担 当 教 員	なし								
教員の実務経験	教育相談室及び発達支援、クリニック等の現場経験があり、臨床心理士及び公認心理師として 25 年の臨床経験を有する。								
実践的授業の内容	臨床心理士及び公認心理師としての専門性とこれまでの経験を講義に活かしながら、福祉心理学に関する基本的知識を教授する。								
そ の 他	生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。								